



コバトン

気象予測データによるウンカ飛来予測状況 (トビイロウンカ、セジロウンカ)

令和6年7月11日
埼玉県病害虫防除所

1 集計期間

令和6年5月1日～7月11日

※本年より、埼玉県に飛来が予測された際に本情報を発表しております。
(なお、今回の飛来予測日は7月1日及び7月11日の2日間でした。)

2 集計方法

日本植物防疫協会が提供している海外飛来性害虫の飛来予測による本県への飛来予測日を集計。気象予報データに基づいて予測された向こう2日間の気象データと、害虫の飛翔特性からなるシミュレーションモデルによる。

3 集計結果

5月1日から7月11日までに、県内へのウンカ（トビイロウンカ、セジロウンカ）の飛来予測日は4日でした。

過去10年間(※)の同時期の平年値は5.9日です。

年次 飛来予測	本年 (令和6年)	昨年 (令和5年)	平年値(※)
調査期間 (5/1～7/11)	4日	2日	5.9日

※令和4年の6月25日以降は欠測のため、平年値は令和4年を除く過去10年の平均値。

4 ウンカ類による被害について

トビイロウンカとセジロウンカは国内では越冬できず、毎年6～7月の梅雨時期に偏西風に乗って、中国大陸から飛来するイネの害虫です。

特にトビイロウンカは、イネの株元に寄生し、急激に増殖、吸汁加害することで、被害が発生します。被害が広がり、のちに「坪枯れ」症状が発生します。

飛来予測日数が多くなってきた場合には株元をよく観察し、寄生が確認されたほ場では薬剤防除を実施しましょう。



トビイロウンカによる坪枯れ被害



トビイロウンカ成虫



セジロウンカ成虫